

⑦ 野鳥の観察

1 子どもたちに伝えたいこと

- ・野鳥の観察を通して、自分たちの周りにある自然環境を考えてみる。
- ・日野には野鳥の餌となる、木の実・小魚・昆虫などが豊富にあることを伝える。

2 実施時期：通年

3 実施場所：野外

4 対象学年：中学年～高学年

5 関連教科：総合、理科

6 時数：2時限～3時限

7 事前準備

- ・河川・公園管理者への申請（必要な場合）
- ・フィールドの下見
- ・野鳥について事前学習
- ・野鳥の資料の作成・印刷

8 当日

(1) 準備する材料や道具

学校：印刷した資料、筆記用具、図鑑、双眼鏡（あれば）

どんぐりクラブ：双眼鏡、望遠鏡、ボランティア袋（ゴミ拾い用）

(2) 授業の流れ

(ア) あいさつ

(イ) 鳥に関する話

(ウ) 双眼鏡の使い方

(エ) 野鳥観察のこつ

(オ) 観察をする

(カ) まとめ

観察で学んだこと、気づいたことなどを発表する。

(キ) 終わりのあいさつ

9 備考

- ・4～8月は野鳥の繁殖期でもあり、この間の活動はなるべく避けたい。一方、木の葉の落ちる冬場は観察に適している。
- ・公園や雑木林、河原に行くとより多くの野鳥が観察できるが、学校から遠い場合には移動に時間をとられるため、より多くの時限数が必要である。



<カワセミ>



<川での野鳥観察>



<望遠鏡による観察>